

第845回大学院医学系研究科・医学部 倫理委員会C議事要録

日 時 2026年06月15日（月） 15:00～15:40
 場 所 WEB開催
 出席者 星委員長、内田副委員長、高田副委員長、鹿毛、石川、建石、吉岡、神田、高山、奥田、鈴木、安原、水野、谷水 各委員
 欠席者 岡田、武田、三浦、大庭 各委員
 陪席者 蔵並、深田、牛村、永山、勝又（以上、研究倫理支援室）

○前回の委員会議事要録の確認が行われた。

○報告事項

1. 既に承認されている案件について、軽微な変更と認め委員長一任で承認した報告が行われた。（8件）

番号	申請者	所属	職名	研究課題
2021322Ge-(5)	加藤 元博	小児科	教授	小児・AYA・成人に発症した B 前駆細胞性またはT 細胞性急性リンパ性白血病の初回寛解導入療法および早期強化療法に関連した凝固障害に対する 包括的凝固線溶機能解析を用いた探索的研究`L-アスパラギナーゼ活性の推移を組み入れた マルチファクター解析研究` (JPLSG-ThrombALL-B19&T19)
G10094-(8)	石原 聡一郎	大腸・肛門外科	教授	大腸がんのゲノム・エピゲノム解析
G10063-(9)	石原 聡一郎	大腸・肛門外科	教授	マイクロサテライト不安定性を呈する大腸がんのゲノム・エピゲノム解析
2025395G-(1)	唐崎 隆弘	呼吸器外科	助教	高感度な循環腫瘍シグナル検出法の開発
G10095-(29)	藤尾 圭志	アレルギー・リウマチ内科	教授	ヒト免疫系の機能ゲノム学による統合的理解とこれを用いた免疫疾患の発症予防のためのインターベンション戦略の構築
2025101Pe-(1)	高原 楠晃	消化器内科	助教	切除可能または切除可能境界膵癌の遠位胆道狭窄に対する内視鏡的経乳頭の胆道ドレナージにおける10mm 径covered self-expandable metal stent/ plastic stent/ 6mm 径covered selfexpandable metal stent のランダム化比較試験
2025107Pe-(2)	鈴木 伸三	消化器内科	助教	通過障害合併Stage IVB食道癌に対する免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法と放射線（化学）療法後の免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法の実用的ランダム化第Ⅱ相試験（IMPULSE試験）
2024436NI-(5)	椎木 義統		Executive Director and General Manager	ENPP1欠損症及び乳児発症型ABCC6欠損症（GACI 2型）患者における疾患進行を評価する前向き観察レジストリ研究

2. 有害事象の報告が行われた。（1件）

番号	申請者	所属	職名	研究課題
2021007Pe-(3)	長谷川 潔	肝・胆・膵外科	教授	切除不能な肝門部領域胆管癌に対する生体肝移植

3. 終了報告について、委員長一任で確認された。（5件）

番号	申請者	所属	職名	研究課題
P2015025-11X-(10)	宮川 卓也	皮膚科	講師	病理病期Ⅱ期およびⅢ期皮膚悪性黒色腫に対するインターフェロンβ局所投与による術後補助療法のランダム化比較第Ⅲ相試験
G10107-(5)	新美 芳樹	早期・探索開発推進室	室長	常染色体優性アルツハイマー病（ADAD）に関する縦断的観察コホート研究
2023138NI-(1)	山口 諒	薬剤部	薬剤師	グリコペプチド感受性腸球菌菌血症に対するグリコペプチド系抗菌薬のPK/PD解析

2021106G	八木 浩一	胃・食道外科	准教授	食道癌・胃癌におけるニボルマブ治療前後の腫瘍免疫応答の解析
2024465NI	佐藤 雅哉	検査部	講師	自然言語処理モデルによる日本語腹部超音波レポート生成モデルの開発

○議事

1. No. 2025004P（新規） 山下 英臣（放射線科・准教授）「限局性前立腺癌に対する単回照射における線量増加の臨床第I相研究（Trial2025）」

【直接審査】（単機関研究）（継続審査）
 研究責任医師の放射線科 山下 英臣医師及び研究分担医師の放射線科 安居 文音医師より、本申請の内容ならびに前回の委員会審査での指摘事項に対する回答について説明が行われた。
 その後、説明医師は退席し、出席委員にて討議を行い、審議の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】
 【研究の科学的合理性の確保】
 【個人情報の保護】の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

2. No. 2026150G（新規） 藤尾 圭志（アレルギー・リウマチ内科・教授）「リウマチ性多発性筋痛症におけるIL-17経路の解明と、局所炎症環境におけるセクキヌマブの作用機序の検討（PRECISION-PMR study）」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。
 【研究の科学的合理性の確保の観点から】
 により、資金提供を行っている企業の関与および当該企業と委託業者との関係性について質問があり、内容の確認を行った。
 審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】
 【研究の科学的合理性の確保】
 【個人情報の保護】等の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】
 ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

3. No. 2026177G（新規） 石原 聡一郎（大腸・肛門外科・教授）「若年性大腸癌の分子病理動態の解明」

担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯（指摘事項に基づく変更点等）について説明が行われた。
 審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】
 【研究の科学的合理性の確保】
 【個人情報の保護】等の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。

【附帯事項】
 ・利益相反アドバイザー機関の判断を仰ぐこと

○その他

- ・自然科学の有識者である委員（鹿毛委員）より、共同研究機関として企業が研究に参画する際、当該企業の関わりの開示範囲について確認がなされた。
- ・事務局より、第839回倫理委員会にて承認となった2025514NIについて報告を行った。
- ・事務局より、一括申請外部委託案件について6件報告を行った。

以 上